
山形ビエンナーレ 2020 大好評開催中！ 詩人・岩崎航、山形交響楽団、UA、GOMA など豪華出演者多数

東北芸術工科大学(山形市上桜田/学長：中山ダイスケ)が主催する「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」が2020年9月5日(土)13:00に開幕し、公式webサイトをプラットフォームとして、各プロジェクトのYouTubeチャンネルからオンデマンドおよびLive配信を行っています。

7つのプロジェクトから、約140個のプログラム配信を予定しており、約90組のアーティストが参加しています。現在まで、25,000以上のアクセスがありました。

第2期の配信を終え、最も配信数のある第3期(9/18~22)、そして大フィナーレも含む第4期(9/25~27)が始まります。本芸術祭の芸術監督・稲葉俊郎が尊敬する詩人・岩崎航、全国的に高い評価を得るオーケストラの山形交響楽団奏者8人による金管8重奏、日本を代表する女性歌手UA、ディジュリドゥの演奏家であり画家としても活躍するGOMAが出演します。オンラインショップでは、今までのアート関連の商品に加え、オーガニック食品や酒類なども並びます。

■みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2020 「山のかたち、いのちの形～全体性を取り戻す芸術祭～」

会期：2020年9月5日(土)～27日(日)

※会期中の 金・土・日・祝日にライブ配信あり。

※各プログラムのアーカイブは、一部を除いて随時オンデマンドで視聴・閲覧が可能です。

参加料：無料(一部のプログラムは有料)

■運営体制

総合プロデューサー：中山ダイスケ(東北芸術工科大学 学長)

芸術監督：稲葉俊郎(医師/軽井沢病院総合診療科医長)

キュレーター：三瀬夏之介(同大 芸術工学研究科長)、岩井天志(教授)、原高史(教授)、深井聡一郎(教授)、青山ひろゆき(准教授)、アイハラケンジ(准教授)、安達大悟(専任講師)ほか

アートディレクター：小坂橋基希(株式会社 akaoni 代表)

事務局：東北芸術工科大学 地域連携推進課

主催：東北芸術工科大学

後援：山形県、山形市、山形県教育委員会、山形市教育委員会

助成：令和2年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業(街とアートのマルチプレイ)、公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 花王芸術・科学財団、公益財団法人 カメイ社会教育振興財団(仙台市)、公益財団法人 野村財団、公益財団法人 福武財団

【お問い合わせ | 山形ビエンナーレ事務局】

東北芸術工科大学 地域連携推進課(担当:山縣・伊藤) 山形県山形市上桜田 3-4-5

Tel:023-627-2091/Fax:023-627-2081/Email:museum@aga.tuad.ac.jp

山形ビエンナーレ 2020 | 注目のプログラム

※プログラム内容は変更、中止する場合があります。

【漆黒とは、光を映す色 ～詩人・岩崎航が、生きることと芸術を語る～】

筋ジストロフィーという難病を持ち、生活の全てに介助を得ながら五行歌の創作を続ける詩人・岩崎航が、5つのテーマ「病と創作」「コロナ禍・災害」「相模原事件と優生思想」「家族・人との繋がり」「芸術の力」に沿って詩の朗読を交え、生きることと芸術の関係を語ります。記者の岩永直子を聞き手に、岩崎航のトーク・詩の朗読をビデオ収録（30～60分程の予定）した動画を発信します。

放送日時：9月25日（金）14:00～15:15

放送：いのちの学校 YouTube チャンネル (<https://biennale.tuad.ac.jp/program/182>)

出演：岩崎 航、岩永 直子

【稲葉俊郎 × 岩崎航 トーク生きることと芸術】

生きることがそのまま表現された岩崎航の詩に魅せられた稲葉俊郎が、対談を通して彼の生きざまに迫ります。

放送日時：9月25日（金）15:30～16:30

放送：いのちの学校 YouTube チャンネル (<https://biennale.tuad.ac.jp/program/183>)

出演：岩崎航、稲葉俊郎

岩崎 航(いわさき・わたる)プロフィール

詩人。筋ジストロフィーのため経管栄養と呼吸器を使い、24時間の介助を得ながら自宅で暮らす。25歳から詩作。2004年から五行歌を書く。ナナロク社から詩集『点滴ポール 生き抜くという旗印』、エッセイ集『日付の大きいカレンダー』、兄で画家の岩崎健一と画詩集『いのちの花、希望のうた』刊行。エッセイ『岩崎航の航海日誌』（16年～17年/ yomiDr.）のWEB連載後、病と生きる障害当事者として社会への発信も行っている。本年10月に詩集『震えたのは』（ナナロク社）刊行予定。

岩永 直子(いわたな・なおこ)プロフィール

BuzzFeed Japan News Editor。1998年、読売新聞入社。社会部、医療部、医療サイト「yomiDr.」編集長を経て、17年5月にネットメディア BuzzFeed Japan に転職。医療担当の記者、編集者を務めている。岩崎航とは yomiDr. 時代に知り合い、交流を続けている。

【山形交響楽団 金管 8 重奏スペシャルライブ】

山形ビエンナーレ 2020 のために特別に演奏したシーンを撮影しました。芸工大を舞台にクラシック以外の曲も含めて4曲をお届けします。

放送日時：9月25日（金）17:00～18:30

放送：山形ビエンナーレ 2020 YouTube チャンネル (<https://biennale.tuad.ac.jp/program/189>)

出演：井上直樹、松岡恒介、梅島洸立、関谷智洋、太田涼平、篠崎唯、高橋智広、久保和憲

曲目：ノーマン／映画「007」テーマ、G. ダグラス&J.D. ワイス／素晴らしき世界、ヘンデル／「水上の音楽」より アレグロ、ドヴォルザーク／交響曲「新世界より」 Largo

【イノチをいしきするライブ】

日本を代表する女性歌手 UA のスペシャルライブ。ピアノとともに歌声を披露します。

放送日時：9月26日（土）19:00～20:00

放送：いのちの学校 YouTube チャンネル (<https://biennale.tuad.ac.jp/program/196>)

出演：UA

UA(ウーア) プロフィール

UA とは、スワヒリ語で「花」という意味を持つ言葉。大阪出身。母方の故郷は奄美大島。1995年「HORIZON」でデビュー。『情熱』『悲しみジョニー』『ミルクティー』などのヒット曲を持ち、映画主演、NHK Eテレにて歌のお姉さんを務めるなど活動は多岐に渡る。現在に至るまで、ワンマンライブ、フェス等多数出演。2020年6月、デビュー25年を迎えた。また、2005年より都会を離れ、田舎で農的暮らしを実践中。4人の母親で、現在はカナダに居住。



【祈り 2020】

ディジュリドゥ奏者として活動していた 2009 年に交通事故で脳損傷による高次脳機能障害と診断を受け、退院 2 日後から突然点描画を描き始めた GOMA。アート制作が自身を癒やし、そして再生に至りました。8 月末からの一か月間、山形に滞在し大型アート作品「祈り 2020」制作。それを背景にディジュリドゥを演奏します。

放送日時：9月27日（日）16:15～16:45

放送：いのちの学校 YouTube チャンネル (<https://biennale.tuad.ac.jp/program/201>)

出演：GOMA

GOMA(ゴマ) プロフィール

オーストラリア先住民族の伝統楽器ディジュリドゥの奏者・画家。1994年、ディジュリドゥに出会い4年間情熱をそそぎつづけるも情報量の少なさにオーストラリアへ単身で修行の旅に出る。1998年アボリジナル保護区、アーネムランドにて開催されたバルンガディジュリドゥコンペティションにて準優勝。ノンアボリジナル奏者として初受賞という快挙を果たす。帰国後、FUJIROCK FESTIVAL、朝霧 JAM、RISINGSUN ROCK FESTIVAL など野外フェスを中心に活動、海外にも活動の幅を拡げ勢いに乗っていた 2009 年交通事故に遭い高次脳機能障害と診断を受け活動を休止。退院 2 日後より突然描きはじめた絵が評価され画家として活動を開始。11 年再起不能と言われた事故から苦難を乗り越え音楽活動を再開。12 年 GOMA を主人公とする映画「フラッシュバックメモリーズ 3D」が東京国際映画祭にて観客賞を受賞。19 年詩人の谷川俊太郎との共著。自身初の画集として「Monad モナド」を出版。

